

# 第9回政策対話の実施状況について

国際観光推進室

## 1 概要

- (1) テーマ： 「インバウンド推進における受入環境の整備について」
- (2) 日 時： 令和元年9月5日（木）13:15～15:30
- (3) 場 所： 白馬ハイランドホテル「2F ほわいえ」
- (4) 参加者： 30名（白馬バレー地区（大町市、白馬村、小谷村）の宿泊事業者、観光関係事業者、小売業者ほか）  
（オブザーバーとして白馬高校国際観光学科の生徒2名、教師1名）
- (5) 県参加者： 中村観光部長、塩原山岳高原観光課長、小林国際観光推進室長
- (6) コーディネーター： 伊藤かおる氏（コミュニケーションズ・アイ代表）

## 2 主な意見等

- ・一部の外国人旅行者が、屋内で花火をしたり、飲酒して夜大声で騒ぐなどトラブル事案が見受けられる。
- ・外国人のスキーマインストラクターの就労ビザを申請してもほとんど認められず、需要が多いにもかかわらず対応に苦慮している。
- ・小谷エリアは十分な通信環境が整っていないことに加え、ATMも限られているので、外貨の両替を、協会の職員が対応するなど、早期に解決していかないといけない。
- ・キャッシュレス導入を検討するにしても、高齢の事業者の賛同が得られず、地域を挙げた取組みになりにくい。
- ・キャッシュレスは、事業者の「気持ち次第」であり、こういう地域にしていくという地域全体の取組みが重要
- ・外国語表記について、統一した基準で進めるべきである
- ・世界級のリゾートを目指すのであれば、バックカントリーも含め、スキー場の安全パトロールのレベルを上げるべきである。
- ・村内全域でのWiFi環境が悪く、観光地周辺しか繋がらない。